

NPO 炭鉱の記憶推進事業団 特別企画

川俣正+コールマイン研究室

炭鉱×アート

プロジェクトドキュメント展



Hokkaido-Coalmine
Heritage Association



Coalmine Lab.



KAWAMATA

2009.11.12 (Thu) ~ 11.30 (Mon)

そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター



KAWAMATA

北海道出身で世界的に活躍するアーティスト川俣正と、全国の炭鉱町で活動しているコールマイン研究室（コールマイン・ラボ）の活動を、今夏、岩見沢駅前オープンしたそらち炭鉱の記憶マネジメントセンターで紹介します。

川俣正が「個人的な公共事業」として10年に渡って取り組んだ「コールマイン田川」、現在進行中のドイツ・北海道におけるコールマインプロジェクト、そして本展と同時期に目黒区美術館で開催される「文化資源としての〈炭鉱〉展」における炭鉱インスタレーションの一連の足跡と活動を写真と資料にて紹介します。

また、川俣正・空知とつながりが深いコールマイン研究室が全国の炭鉱町で収集したリサーチコンテンツやプロジェクト活動を併せ展示紹介します。

KAWAMATA

川俣 正

北海道三笠市出身。28歳の若さでヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれ、その後もドクメンタなど、欧米を中心に高い評価を獲得する。東京藝術大学が革新的な試みとして設置した「先端芸術表現科」の立ち上げに主任教授として着任し、既存の美術表現の枠組みを超えていく試みを実践してきた。

現在は、パリ国立高等芸術学院の教授であり、海外でもっともよく知られている日本人アーティストである。

2005年横浜トリエンナーレ総合ディレクター。1996年から九州の炭鉱町で「コールマイン田川」プロジェクトを10年かけて展開し、現在ドイツ・北海道におけるコールマインプロジェクトを構想中。本店では炭鉱にまつわる足跡と現在進行形のプロジェクトの紹介を行う。



コールマイン研究室

アーティストやミュージシャン、クリエイターを中心とした炭鉱の研究・調査・ミーティング集団。平成20年2月、東京都現代美術館で開催された川俣正展において正式に発足し、展示会場で研究室（オープン・ラボ）を展開。会場では会期中を通して、研究・リサーチ・ミーティング・イベント等を行い、現代を生きる若者が「炭鉱」へのアプローチを通じて過去・現在・未来について考察し新たな可能性を模索している。

現在は北海道・福島・宇部・美祿など、全国にまたがり活動を展開している。本店では前進であるグループ炭坑夫時代の資料も交えながら、空知をはじめとした炭鉱地でのリサーチコンテンツを展示しプロジェクト紹介を行う。

炭鉱の記憶推進事業団

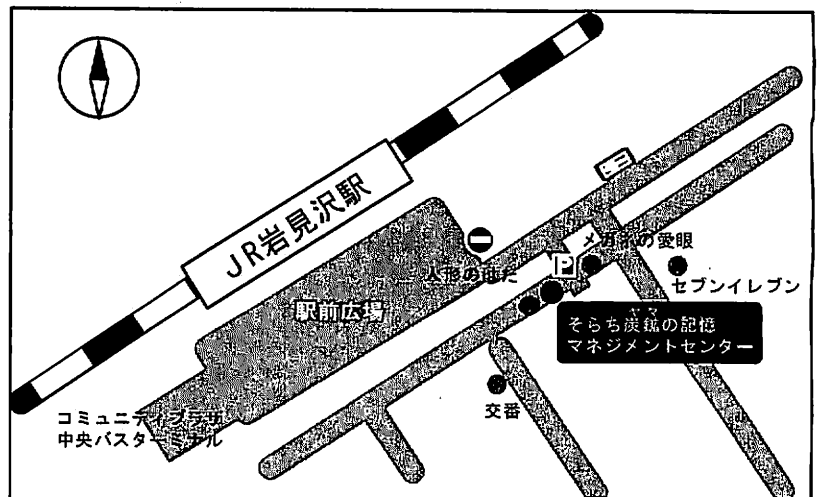
そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター

〒068-0021 岩見沢市1条西4丁目3

(メガネの愛眼さんとなり)

10:00 ~ 19:00 火曜日定休

Tel. 0126-24-9901 Fax 0126-24-9902



※観覧は無料です。

※お問い合わせはそらち炭鉱の記憶マネジメントセンターへ。